

関東大震災100年

「連携・実践・わがこと化」

首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、関東大震災100年にあたり、首都直下地震で大きな被害が発生する地域を所管し、

自らも道路、港湾、河川等のインフラを管理する関東地方整備局として、地域全体での対応力を強化するため、関係機関との連携を強化し、より実践的な応急対応を目指して訓練を行うとともに、それぞれが主体的に対応することの必要性・重要性を

広く関東地域にお住まいの皆さんや関係する方々に訴えることを目的に、一連の取組を実施していきます。



東京駅前の焼け跡、日本橋方面

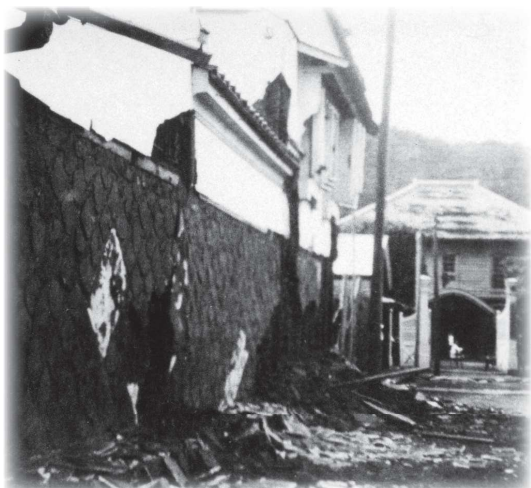


酒匂川国道の橋(神奈川県)



横浜海岸の焼け跡

上記写真3点の出典：気象庁ホームページ



破損した外壁(都留市内)



倒壊した家屋(都留市内)



円通院山門付近の地割れ(都留市内)

関東大震災100年に学ぶ 山梨県における地震防災

～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～

開催日時・場所

令和5年 **7月21日(金)**

13:30～16:00(13:00開場)

山梨県立文学館 講堂



プログラム

基調講演

「ヒト・モノの災害時連携を考える
～災害事例に基づく応援受援のあり方～」

田村 圭子 氏 (新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授)

事例紹介

「山梨県における過去の災害」

松川 基 氏 (気象庁 甲府地方気象台 次長)

「大規模地震への備えについて」

伊藤 公仁 氏 (山梨県 防災局 防災危機管理課長)

ディスカッション

パネリスト(五十音順)

菅原 茂 氏 (宮城県 気仙沼市長)

秦 康範 氏 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 准教授)

山下 博史 氏 (NPO法人 災害・ボランティア未来会 代表)

留守 洋平 氏 (関東地方整備局 甲府河川国道事務所長)

コーディネーター

田村 圭子 氏 (新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授)

参加無料

事前にお申し込みが必要です。
来場参加は先着200名、Web視聴は500名程度参加できます。

参加方法

右の二次元コードまたは以下のURLよりお申し込みください。
お申し込みURL <https://form.run/@ktrmlit-bousaisympo-info>



来場参加

- 1 ご案内ページより参加申し込みをお願いします。
※申し込みフォーム上で「**来場参加(山梨県立文学館)**」を選択してください。
- 2 ご登録いただいたメールアドレスに参加案内が届きます。
- 3 当日、上記地図の会場にお越しください。

Web視聴

- 1 ご案内ページより参加申し込みをお願いします。
※申し込みフォーム上で「**Web視聴**」を選択してください。
- 2 お申し込みいただいたメールアドレスに視聴用URLをお送りいたします。
(Web視聴は動画配信サービス「YouTubeLIVE」を使用します。)
- 3 7月21日(金)13時00分以降に視聴用URLにアクセスし、ご参加ください。

主催：山梨県、甲府地方気象台、甲府河川国道事務所

後援：一般社団法人山梨県建設業協会、山梨日日新聞社、山梨放送

問い合わせ：甲府河川国道事務所 TEL.055-252-5491(代表)